

# 愛媛3高校生 アジア挑む

## ビーチバレーU19代表に

### 男子 萩尾(三島) 「全力を出す」

### 女子 森川・矢田(今治) 「表彰台狙う」



U19男子日本代表に選ばれた三島高3年の萩尾太一(左)と、同校体育館で2度目の国際舞台に出場する今治精華3年の森川仁湖(右)と矢田和香(左)が13日、松山市朝生田町6丁目



5月1日からタイで開かれるビーチバレーU19アジア選手権に愛媛の高校生3人が日本代表として出場する。

普段は6人制バレーをしている男子の萩尾太一(三島3年)、女子の森川仁湖と矢田和香(ともに今治精華3

年)。上位5カ国に与えられる世界選手権出場を目指して国際舞台に挑む。萩尾は中学まで剣道

をしていて、バレーボールを始めたのは高校からという新星だ。中学では部員が1人だった。高校ではチーム競

た。昨年末には全国の将来有望な中高生を集めたバレーの全日本ジュニアオールスタードリムマッチにも出場した。

技をしたかった」と友達の誘いを受けて入部した。競技歴はまだ2年ながら、身長189センチで最高到達点320センチの高さを生かしミドルブロックとして活躍。昨年末には全国の将来有望な中高生を集めたバレーの全日本ジュニアオールスタードリムマッチにも出場した。

ビーチバレーは今回が初挑戦。大会では花巻東(岩手)の選手とペアを組む。「(6人制と違って)お互いの個人技がより大切になる。全力を出して、一つでも多く勝ちたい」と意気込む。

女子の森川・矢田ペアは昨年のU21アジア選手権に続く2度目の国際舞台となる。年代が上の選手と対戦した前回は予選敗退。悔しい思いを胸に攻守のレベルを上げてきた。「今回は表彰台に立って世界選手権の切符をつかむ」と雪辱を誓う。

大会は男子32チームと女子21チームが参加して5月15日に開催。8月に中国で行われる世界選手権の出場枠を懸けて争う。(清家康尊)